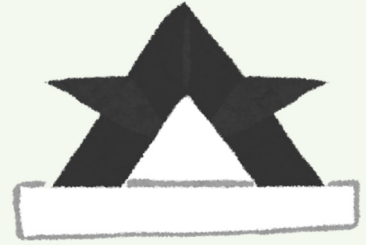


ふいるさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



なす事の無き一日よ日脚伸ぶ

西原町 児玉久美子

黄昏るる傍に妻あたたかし
かたわら

仲町 玉野研一

白鳥の餌を求めつ田に畑に

南桜町 宮腰幸子

春宵や子より送らるドリル解く

緑町 池田良子

ひとりから老深まりぬ余寒かな

西岡町 渋谷みさ子

復興の未来は遅々と春十年

西町 金澤頼子

せせらぎも春の鼓動となりけり

元町 印牧安子

行く春や廃線惜しむ宗谷線

仲町 坂部和子

指先でぞと触れたとき春の月

元町 西崎弘子

無人駅一人待つ背に朧月
おぼろげな

仲町 梅基文子

逃げ水を追って行く道帰り道

旭町 大河博子

皆遠く見詰める先の山笑う

西町 岸波君江

入社式同期にAIいるらしい

西町 杉浦とし枝

犬の足泥の気なる雪解道
ゆきげみち

藤本町 鈴木ゆき子

山笑う陽気な風にくすぐられ

西岡町 高瀬久美子

山笑う空の青さに浮く気球

東町 高橋世津子

春の陽を身に浴びさせて少し行く

西町 文梨清子

山々の笑ひ放たる朝日より

仲町 芳賀星子